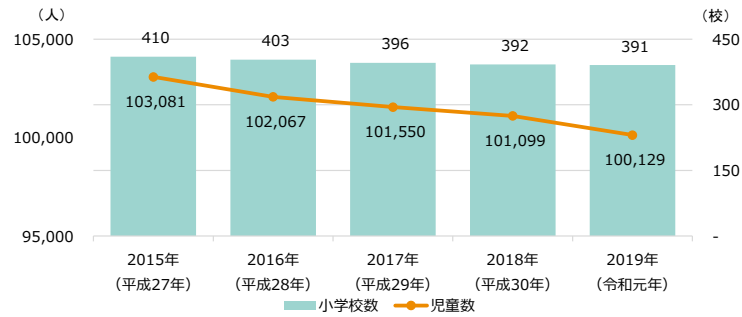


政策1.教育・文化

社会経済の動向（国・県の動向）

岡山県の小学校数と児童数の推移



【出所】文部科学省「学校基本調査」

児童・生徒の減少

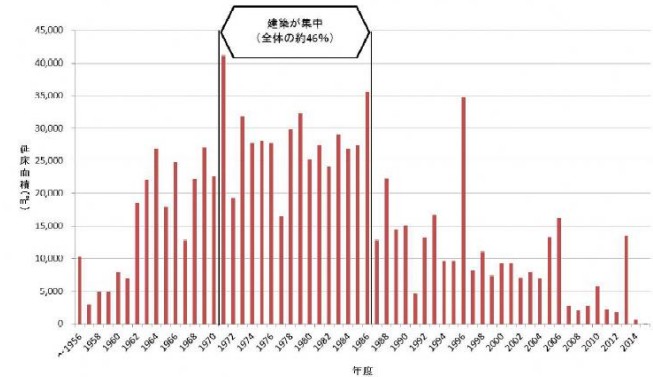
教育のあり方の変化

- 新たなテクノロジーを使いこなし、国際社会で活躍していくために、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力を持った高度人材を育成し続ける必要がある。
- 他国と比べて、高い学力や規律を守る力を引き続き養成した上で、「大志」や「自信」を高めていく必要がある。
- 多様な友人たちと交わり人間関係を構築することができる教育の場を提供する必要がある。

【出所】自治体戦略2040構想研究会「第一次・第二次報告の概要」

求められる資質・能力の変化
(思考力・判断力など)

岡山県の年度別学校施設の延べ床面積の推移

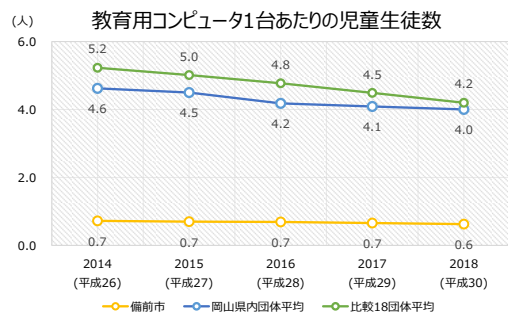


【出所】岡山県立学校施設の長寿命化計画（平成29年）

学校教育施設の老朽化

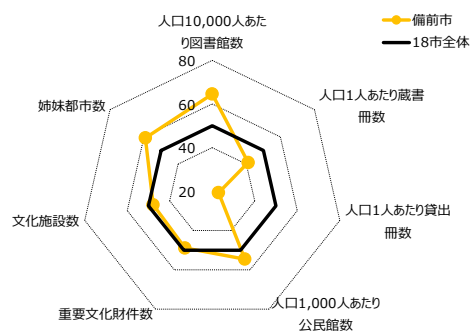
市の概況

教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数



教育用コンピュータ設備の充実

人口1人あたり貸出冊数・蔵書冊数



図書館の蔵書冊数・貸出冊数の少なさ

各種アンケート結果 子育て支援に関する意見

- 中学生アンケート・高校生世代アンケート結果では「子どもが遊べる場所（公園等）や集まれる場所をつくる、増やしてほしい」という意見があった。
- 備前市子ども・子育てニーズ調査（平成31年3月）で今後希望する子育て支援について尋ねた結果、「子どもたちが集団で外遊びができる場所をつくってほしい」という意見がもっとも多かった。

子どもが遊べる場所不足

各種アンケート・各種会議体結果 備前市の魅力等に関する意見

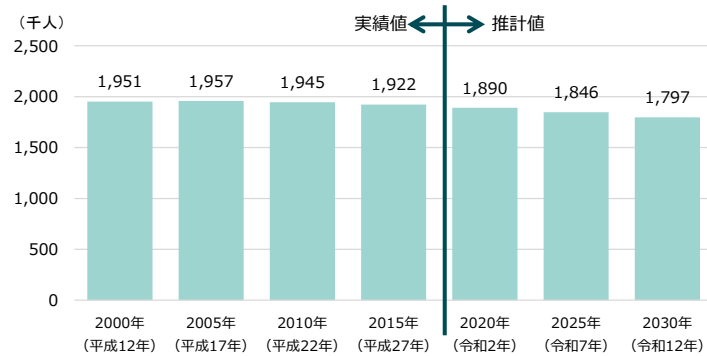
- 中学生アンケート・職員アンケート結果から、備前市は「歴史と伝統のまち」「備前焼」というイメージがあるという意見が多かった。
- 高校生世代アンケート結果から、「まちの魅力のPR・情報発信を工夫すべき」「伝統文化を引き継いでほしい」という意見があった。
- 高校生会議や市民会議結果から、備前市の魅力は「歴史・伝統・文化」に関する意見が多くあった。

歴史・伝統・文化の
保全・継承・発信

政策2.交流・コミュニティ

社会経済の動向(国・県の動向)

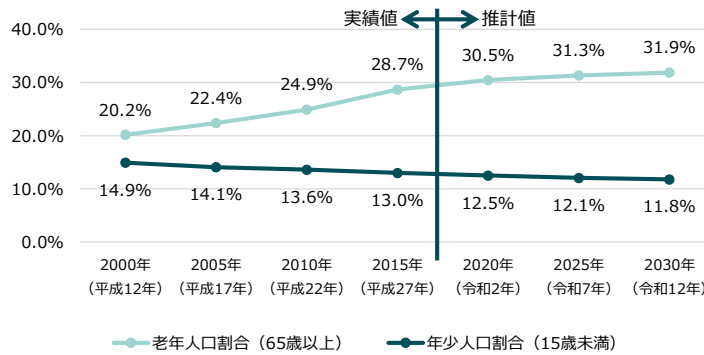
岡山県の総人口の推移



【出所】実績値:総務省「国勢調査」、推計値:国立社旗保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)詳細結果表」

総人口の減少

岡山県の老年・年少人口割合の推移



【出所】実績値:総務省「国勢調査」、推計値:国立社旗保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)詳細結果表」

老年人口の増加・年少人口の減少

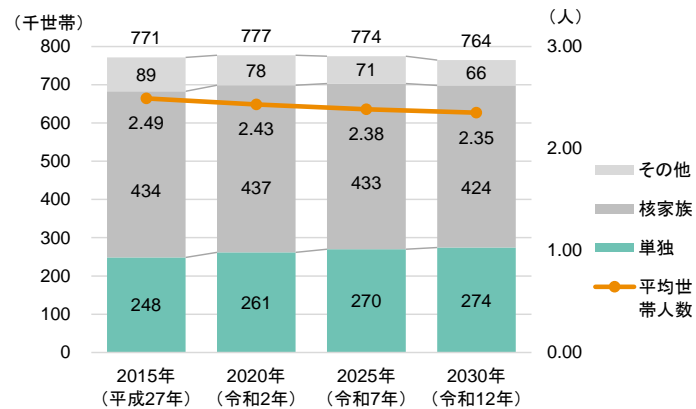
日本全体・岡山県の出生数の推移

	世代	出生数
全国	団塊の世代(1947~49年生まれ)	267.9万人~269.7万人
	団塊ジュニア世代(1971~74年生まれ)	200.1万人~209.2万人
	2013~2015年生まれ	100.4万人~103.0万人
岡山県	団塊の世代(1947~49年生まれ)	5.0万人~5.4万人
	団塊ジュニア世代(1971~74年生まれ)	3.0万人~3.2万人
	2013~2015年生まれ	1.5万人~1.6万人

【出所】全国:自治体戦略2040構想研究会「自治体戦略2040構想研究会第一次・第二次報告の概要」、岡山県:人口動態総覧

出生数の減少

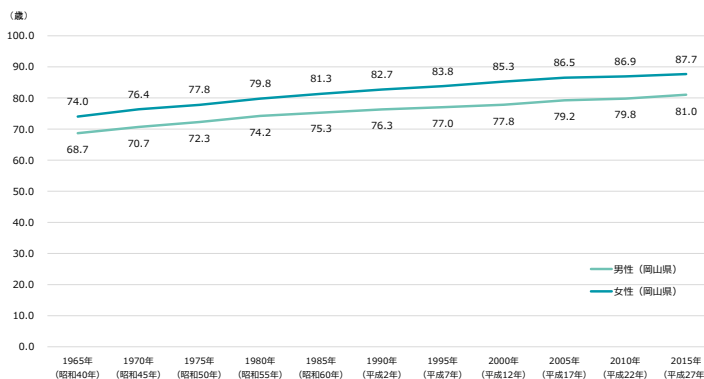
岡山県の世帯数の変化



【出所】実績値:総務省「国勢調査」、推計値:国立社旗保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)詳細結果表」

平均世帯人数の減少・単身世帯の増加

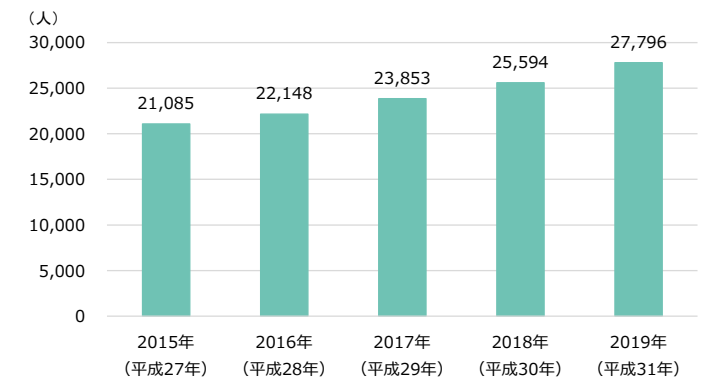
岡山県の平均寿命の推移



【出所】実績値:総務省「国勢調査」

平均寿命の延伸

岡山県の外国人人口の推移



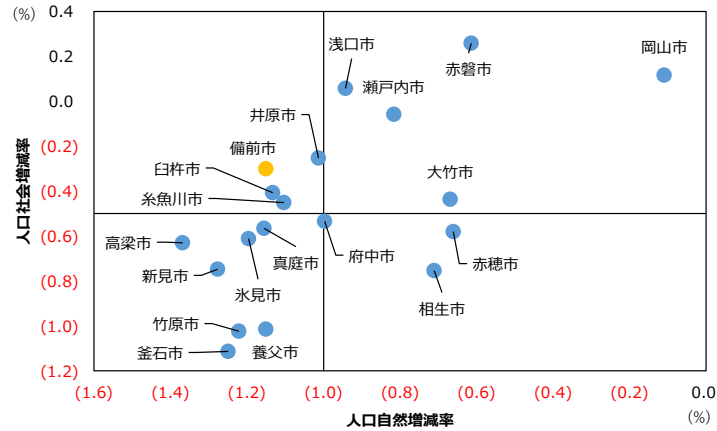
【出所】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

外国人人口の増加

政策2.交流・コミュニティ

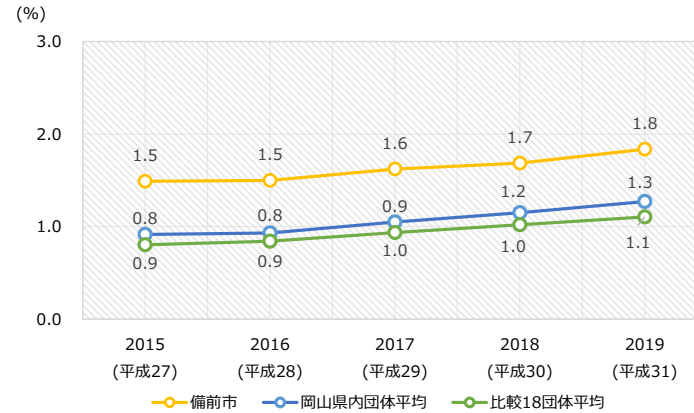
市の概況

自然増減率と社会増減率



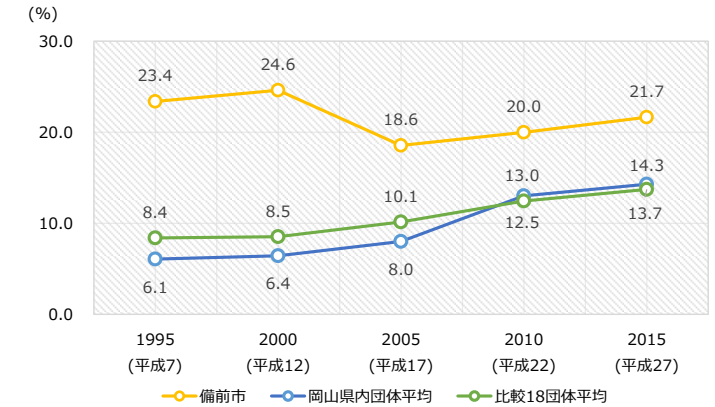
転出者数の多さ

外国人の人口比率



外国人比率の多さ

昼間流入人口比率



昼間人口の多さ

各種アンケート結果 地域活動等に関する意見

- 高校生世代アンケートの結果では「**地域の行事やイベントを増やしてほしい**」「**交流やボランティア等の活動の場や機会を増やしてほしい**」という意見があった。一方で、少子高齢化が進展しており、地域活動の担い手不足、伝統や歴史・文化を引き継ぐ担い手不足が生じている。
- 市民アンケートでは「**この1年間でボランティア活動をしている割合は全体の4割程度**」という結果であった。

地域活動（行事・イベント、ボランティア活動など）の担い手不足

各種アンケート結果 まちの魅力のPRに関する意見

- 中学生アンケート・高校生世代アンケート結果では「**備前焼や閑谷学校など伝統・歴史・文化を守り広めたい**」「**市の魅力を上手くPRし盛り上げる**」「**まちの魅力のPR・情報発信を工夫してほしい**」という意見があった。
- 市民アンケートでは「**旧閑谷学校を来訪者に説明できることができる割合は全体の半数程度**」という結果であった。

まちの魅力のPR不足

各種アンケート結果・高校生会議結果 地域交流・国際交流に関する意見

- 高校生世代アンケートの結果では、「**備前焼を活かした国際交流をするべきである**」「**世代間（小学生・中学生・高校生など）交流の場があってもよい**」という意見があった。
- 高校生会議の結果では「**グローバル化を進めながら、文化を大切に**する」「**外国人が働ける環境をつくる**」「**外国人が安心して定住できるまちをつくる**」という意見があった。

外国人材（関係人口・交流人口など）の確保

政策3.健康・福祉

社会経済の動向(国・県の動向)

保健医療のあり方の変化

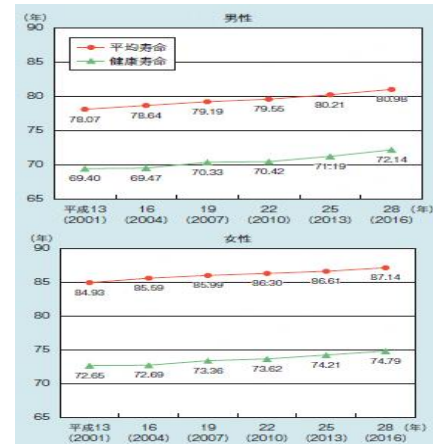
これから20年後の社会と経済の変化に対応するため、パラダイムシフトが必要

2035年に向けての課題と展望	保健医療のパラダイムシフト												
<ul style="list-style-type: none"> 保健医療ニーズの増大、社会環境・価値の多様化、格差の増大、グローバル化の進展 単なる負担増と給付削減による現行制度の維持を目的とするのではなく、価値やビジョンを共有し、新たな「社会システム」としての保健医療の再構築が必要 世界最高の健康水準を維持すると同時に、保健医療分野における技術やシステムの革新を通じて我が国の経済成長や発展の主軸として寄与 財政再建にも真摯に向き合い、我が国の経済財政に積極的に貢献 少子高齢社会を乗り越え、日本がさらに発展し、これから高齢化に直面する国際社会をリードすることで、健康長寿大国としての地位を確立 	<table border="1"> <tr> <th>これまで</th> <th>2035年に向けて</th> </tr> <tr> <td>量の拡大</td> <td>質の改善</td> </tr> <tr> <td>インプット中心</td> <td>患者の価値中心</td> </tr> <tr> <td>行政による規制</td> <td>当事者による規律</td> </tr> <tr> <td>キュア中心</td> <td>ケア中心</td> </tr> <tr> <td>発散</td> <td>統合</td> </tr> </table>	これまで	2035年に向けて	量の拡大	質の改善	インプット中心	患者の価値中心	行政による規制	当事者による規律	キュア中心	ケア中心	発散	統合
これまで	2035年に向けて												
量の拡大	質の改善												
インプット中心	患者の価値中心												
行政による規制	当事者による規律												
キュア中心	ケア中心												
発散	統合												

【出所】厚生労働省「保健医療2035」提言書

保健医療の価値観向上、個人の主体的選択の支援

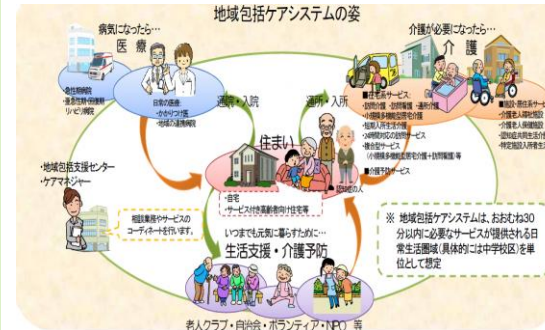
【追加】平均寿命と健康寿命の推移



【出所】内閣府「令和2年版高齢社会白書」

健康増進・健康寿命の延伸、予防施策の徹底

地域包括ケアシステム



医療と介護の連携

【追加】介護保険制度施行以降の介護職員数の推移

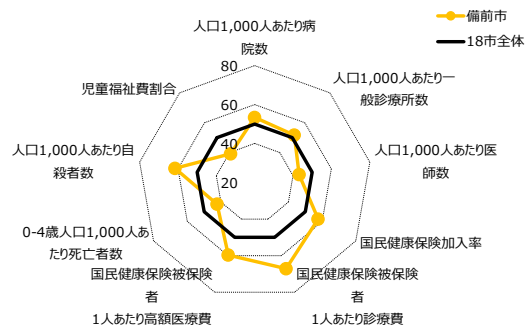


【出所】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(介護職員数)、「介護保険事業状況調査」(要介護(要支援)認定者数)

介護職(介護人材)の不足

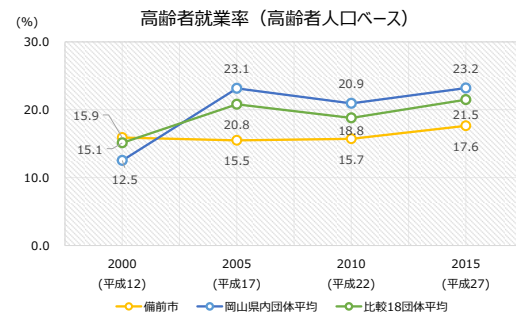
市の概況

人口1,000人あたり病院数と人口1,000人あたり一般診療所数



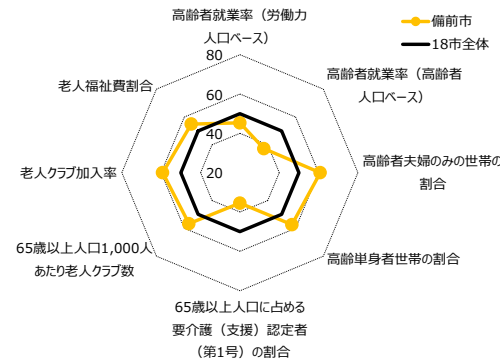
人口あたり病院数・診療数の多さ

高齢者就業率(高齢者人口ベース)



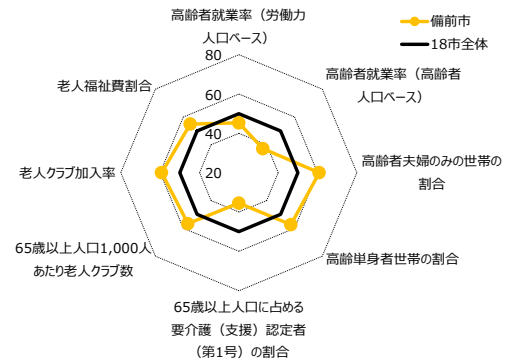
高齢者就業者数の少なさ

高齢者夫婦のみ世帯の割合と高齢者単身世帯の割合



高齢者夫婦のみ世帯・高齢者単身世帯の多さ

老人クラブ加入率(グラフ再掲)

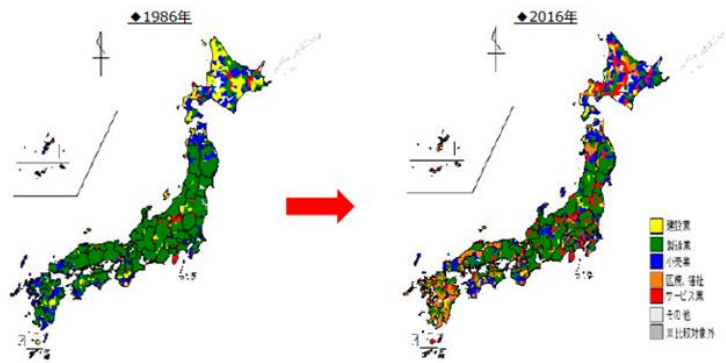


老人クラブ加入者数の多さ

政策4.産業経済・都市計画

社会経済の動向（国・県の動向）

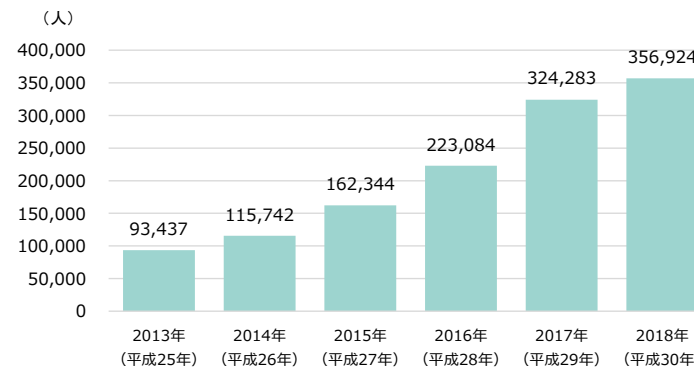
日本全体の従業者数で見た中心産業の変化



【出所】中小企業庁「中小企業白書」

産業構造の変化（サービス産業化）

岡山県の外国人旅行者数



【出所】岡山県「外国人旅行者宿泊者数調査結果」

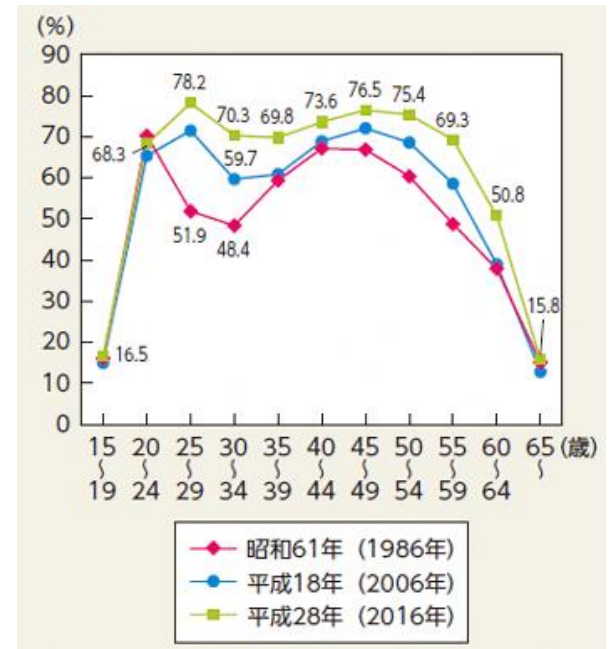
外国人観光客の増加

日本全体の外国人労働者の受入状況



【出所】厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

【追加】女性の年齢階層別の就業率の推移



【出所】内閣府男女協働局「男女協働参画白書平成29年度版」

外国人労働者の増加、女性の社会進出

日本全体の労働時間数と非正規の賃金水準

- 諸外国と比較して、年間総実労働時間は長く、2009年には、その前の年の金融危機の影響により製造業を中心に所定内労働時間・所定外労働時間ともに大幅に減少したものの、その後、総実労働時間は1,700時間台で推移している。
- 非正規の賃金水準は、諸外国では正規の約8割程度と言われている一方で、日本では正規の約6割程度の水準にとどまっている。

【出所】平成29年就業構造基本調査結果

働き方改革の推進（労働環境の整備）

IT技術（AI・RPA）の発展

- 国は、Society5.0の実現に向け、IoT、ビッグデータやAIなどの基盤技術、及びこれらを活用したプラットフォームの構築に必要となる取組に注力している。
- Society5.0の社会では、ドローン宅配、遠隔診療、介護ロボット、見守りサービス、ICT会計、会計クラウド、旅館クラウド、商品の生産・管理、自動走行バス、などの技術が順次取り入れられる予定となっている。

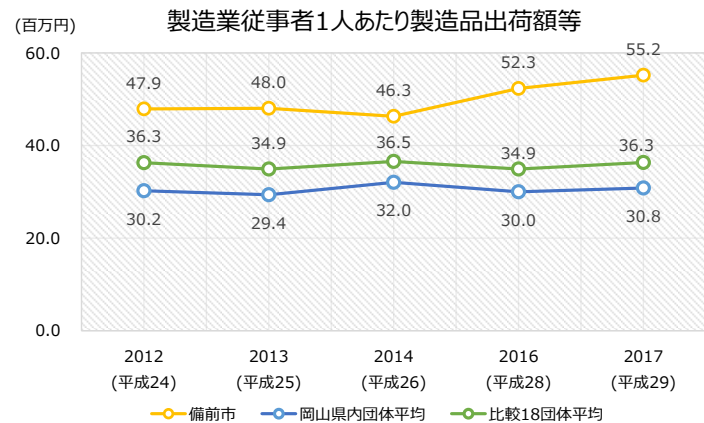
【出所】内閣府ホームページ

- 【追加】デジタル庁を新設し、マイナンバーカードを普及し、国・地方の行政のデジタル化を推進する。

IT技術（AI・RPA）の発展

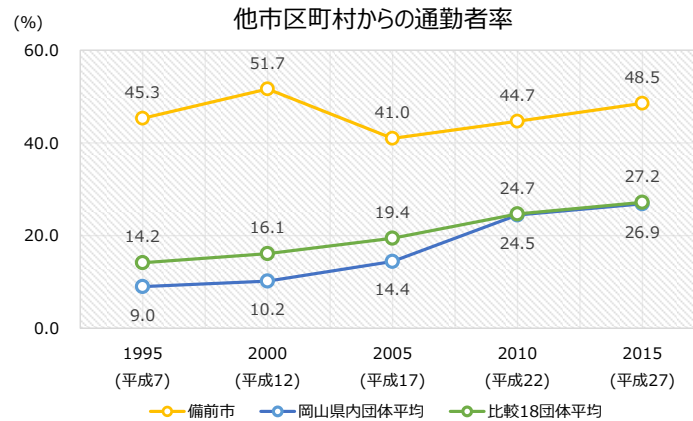
政策4.産業経済・都市計画

製造業従事者1人あたり製造品出荷額等



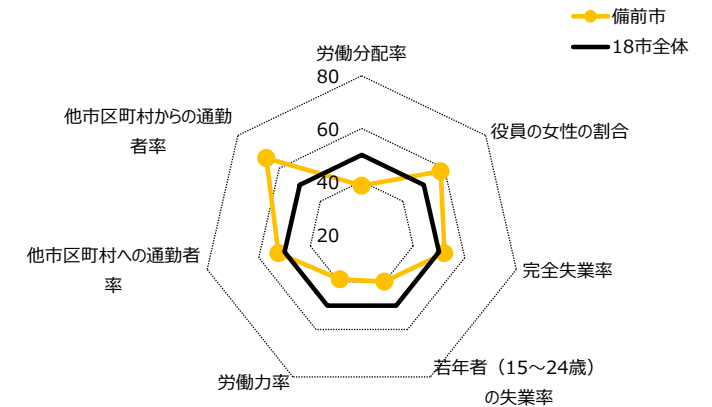
製造品出荷額が高い

他市区町村からの通勤者率



他市区町村からの通勤者数が多い

労働力率と労働分配率



労働力人口が少なく、労働分配率が低い

市の概況

各種アンケート結果 商業施設に関する意見

- 中学生アンケート・高校生世代アンケートの結果では、「**デパートやショッピングモール等の商業施設がほしい**」「**買い物できる場所が少ない**」「**飲食店が少ない**」という意見が多くあった。
- 市外在住の高校生（緑陽高校）アンケート結果から、備前市は「**余暇が楽しめない**」という意見、公共交通や買い物の不便さについて意見が多くあった。

商業施設が少ない

可住地面積割合



可住地域が少なく、定住意向が低い

各種アンケート結果 定住意向に関する意見

- 中学生アンケート・高校生世代アンケートの結果では、前回の総合計画策定時の調査結果と比べて、**定住意向（備前市に住みたい（住み続けたい）と考えている）割合が低くなった。**
- 市民アンケートの結果では、定住意向（備前市に住みたい（住み続けたい）と考えている）**割合は2007（平成19）年以降、6割前後となっている。**また、第2次備前市総合計画後期基本計画の期間の結果は、前期基本計画の期間と比べて低くなっている。

政策5.安全・生活基盤

社会経済の動向（国・県の動向）

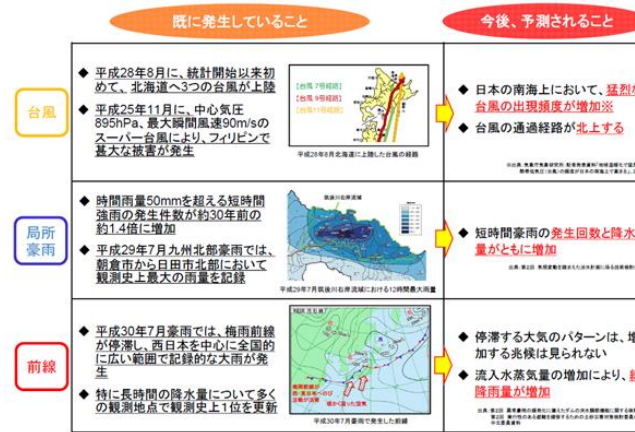
新型コロナウイルス感染症

- 専門家会議からの提言で、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が整理された。
- 新型コロナウイルス感染症は、無症状や軽症の人であっても、他の人に感染を広げる例があることから、市民一人ひとりが、日常生活の中で「新しい生活様式」を心がけていくことで、新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種の感染症の拡大を防ぐことができ、自身のみならず、大事な家族や友人、隣人の命を守ることにつながる。

【出所】厚生労働省ホームページ

新しい生活様式の受入

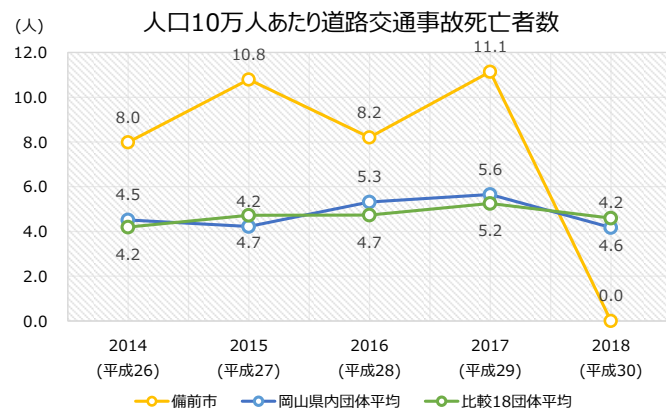
各種災害の発生状況と今後の予測



【出所】国土交通省「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会配布資料」

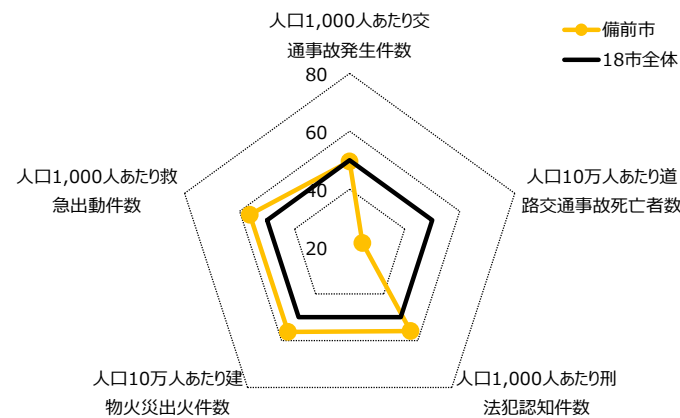
自然災害（地震、台風、ゲリラ豪雨など）の増加

人口10万人あたり道路交通事故死亡者数



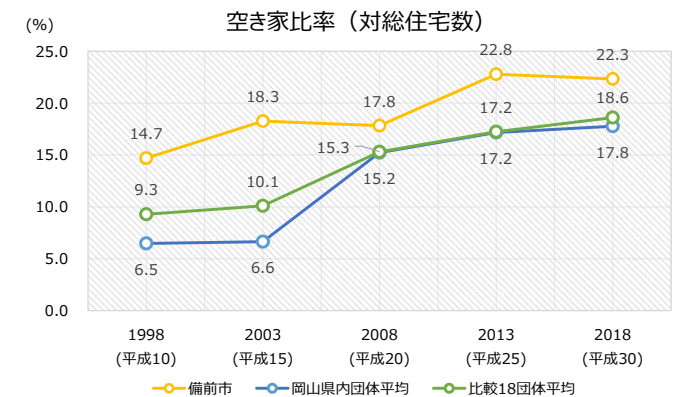
道路交通事故死亡者数が少ない

人口1,000人あたり救急出動件数



救急出動件数が多い

空き家比率（対総住宅数）



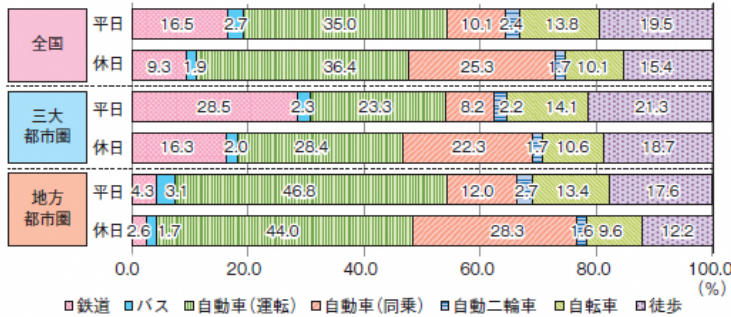
空き家数が多い

市の概況

政策6.生活環境

社会経済の動向(国・県の動向)

【追加】移動の交通手段別構成比



三大都市圏：さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市やその周辺都市を含む29都市
 地方都市圏：札幌市、仙台市、広島市、北九州市、福岡市、宇都宮市、金沢市、静岡市、松山市、熊本市、鹿児島市、弘前市、盛岡市、郡山市、松江市、徳島市、高知市やその周辺都市を含む41都市

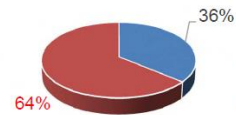
【出所】国土交通省「令和元年度交通の動向」

公共交通機関の利用者の減少

【追加】地域公共交通事業者の厳しい経営状況

<一般路線バス事業者>

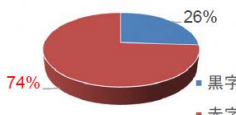
乗合バス事業者の収支状況



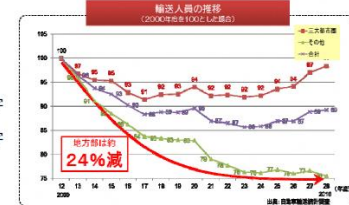
(保有車両30両以上の事業者(2016年度))

<地域鉄道事業者>

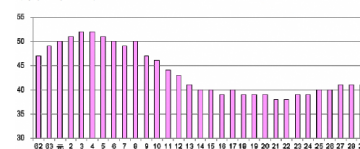
地域鉄道事業者の収支状況



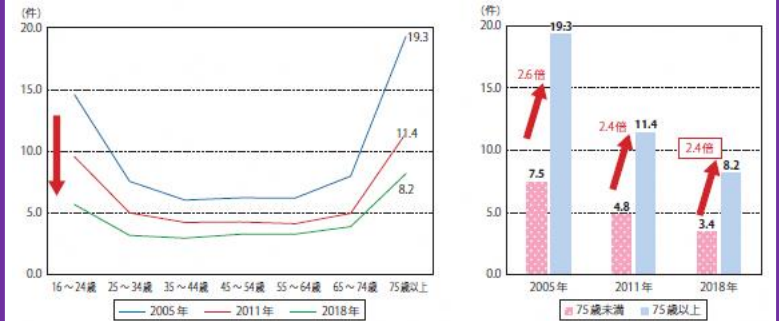
【出所】国土交通省「公共マーケティングへの期待(平成30年12月)」



▼地域鉄道の輸送人員の推移



【追加】年齢層別の交通死亡事故件数(運転免許人口10万人当たり)



【出所】令和2年版国土交通白書

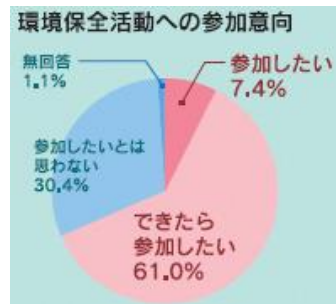
高齢運転者の交通事故の増加

【追加】公共交通空白地域における移動手段確保

- 移動手段確保策を確保・維持するため、①一度にたくさんの人を乗せて輸送効率の向上、②輸送効率は悪くても、継続的に運行できる仕組みの導入、を検討する必要がある。
- 中山間地域での交通確保の目標；
 - 中山間地域等においても、最低限、平日週1回は通院、買い物等ができる移動手段の確保を目指す。
 - 自宅から歩いて負担を感じない程度の距離の交通結節点(バス停等)から路線バスや鉄道、乗合タクシー等の交通手段により、目的地へ到達できることを目指す。

【出所】岡山県「共助による交通手段(公共交通空白地有償運送)の導入ガイドライン(平成28年3月)」

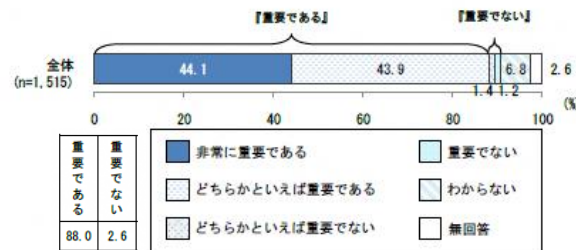
日常生活に必要な移動手段の維持・確保



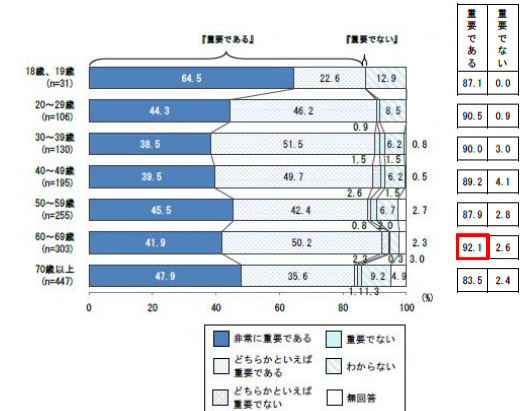
【出所】岡山県「新岡山県環境基本計画エコビジョン2020」

【追加】環境への配慮に関する意識

【環境に配慮した行動に関する自身の考え(全体)】 【環境に配慮した行動に関する自身の考え(年齢別)】



【出所】岡山県「環境に関する県民等意識調査報告書(令和2年8月)」



地球環境問題への関心の高まり

政策6.生活環境

市の概況

各種アンケート結果 公共交通に関する意見

- 高校生世代アンケート・職員アンケート・市民アンケート結果から、備前市の今後のまちづくりにおいて「**公共交通機関の整備**」が重要な課題であるという意見が多かった。
- 中学生アンケート・高校生世代アンケート・職員アンケート結果では、「**公共交通機関の利便性をよくする**」「**電車の本数を増やしてほしい**」「**バスの本数を増やしてほしい**」「**駅及び駅周辺を整備してほしい**」という意見が多くあった。

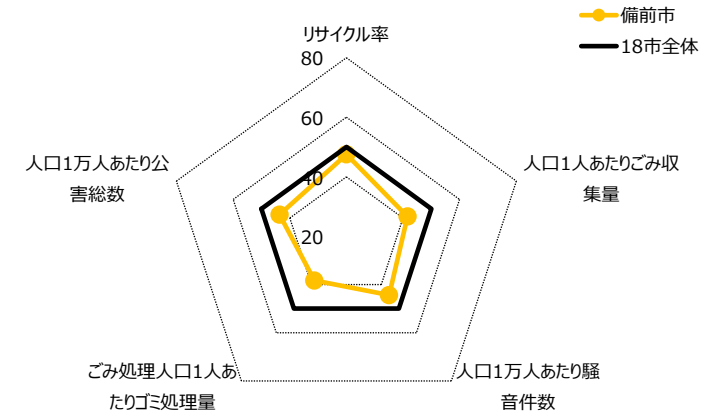
公共交通の不便さ
(電車・バスの増便、駅・駅周辺の整備など)

各種アンケート結果 道路に関する意見

- 中学生アンケート・高校生世代アンケート結果では、「**道路(通学路)が狭くガタガタしている**」「**信号がなくて交通量が多い地域に信号をつける**」「**路面の状態が悪いところが多い**」という意見があった。
- 市民アンケート結果では「**交通渋滞を緩和してほしい**」「**道路に木や草が飛び出しており、車や人が見えず危険である**」「**市内各所道路が狭く、自動車のすれ違いに支障が生じている**」という意見があった。

道路事情の悪さ

人口1人あたりごみ収集量



ゴミ処理量が少ない